ご注意

当製品を使用するためには OBDⅡ に対応している必要があります。

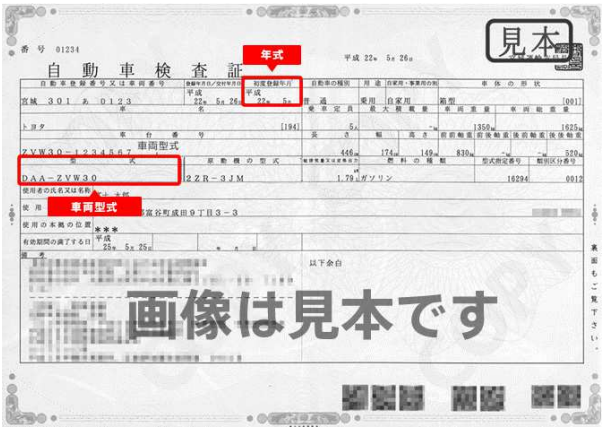
国産ニューモデルでは

- 2008 年 10 月以降は全車種 OBDⅡが搭載されています。

国産継続モデル、輸入車では

- 2010 年 9 月以降は全車種 OBDⅡが搭載されています。

車検証の**型式**や**初年度登録年月**などを元に Goo-net の車両カタログからより正確な年式を確認してみてください。

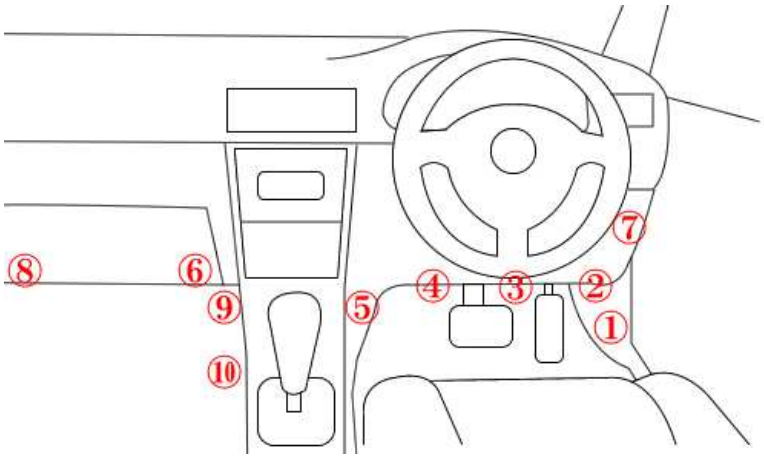


http://www.goo-net.com/catalog/

OBDⅡに対応していない車両では HUD は機能しません。

設置から使用まで

1.　OBDⅡコネクタ場所の確認



OBDⅡコネクタは左の図のようなものになります。
車種によってコネクタのある位置はそれぞれ異なります。インターネットで

「車種名　OBDⅡ　場所」

などと検索するなどして、まずOBDⅡコネクタの場所を確認してみてください。

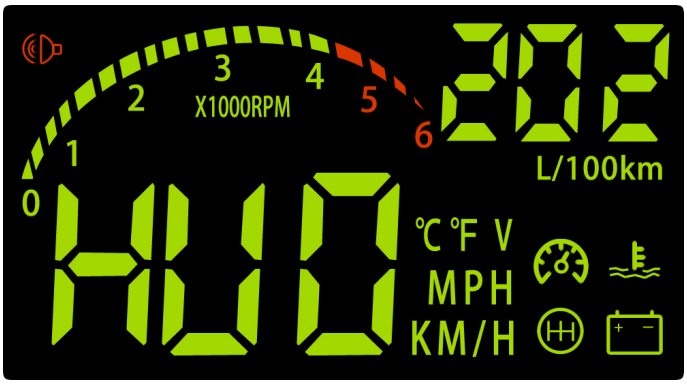
一般的には次の図の①から⑩のような場所にあります。

2.　本製品を付属のケーブルでつなぐ

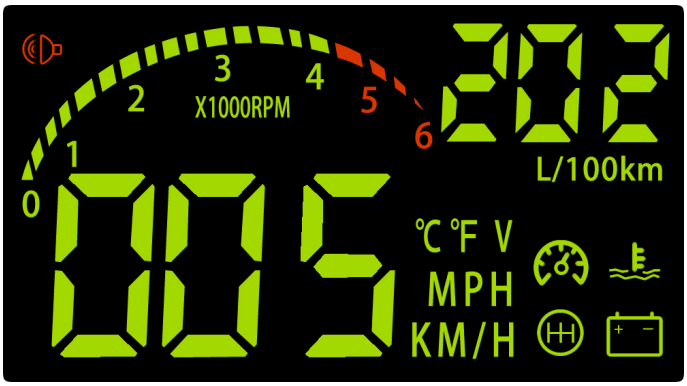
3. 本体スイッチを入れる

4. 起動後のスキャンを待つ

A) 起動直後下のような「HUD 202」と表示されます

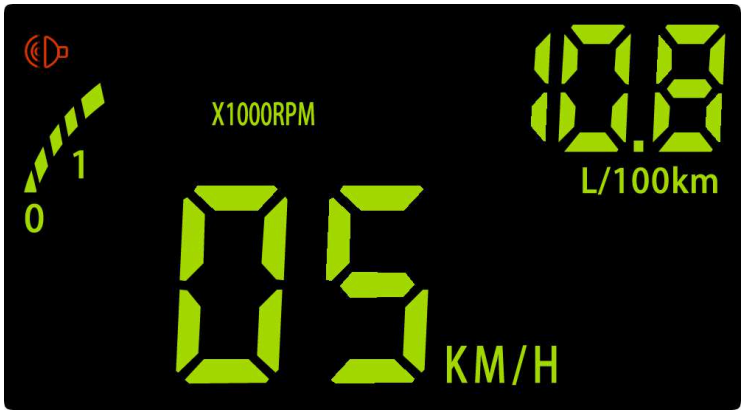


B) その後 OBDⅡタイプの確認のため、スキャンが開始され数字が「1」から「9」あがっていきます。



スキャンが完了せずスピードメータが表示されない場合は、本体いずれかのボタンを押し、再スキャンを行ってください。継続してスキャンが完了しない場合は車両が OBDⅡに対応していない可能性があります。

5. OBDⅡが認識されスキャンが成功すると車速などが表示されます。



6. 付属の反射シールを貼る
   A) Step①の面を剥がし、フロントガラス内側に貼る
   B) Step②の面を剥がす

表示選択

上記のようにスキャンが完了した状態から本体の ← → ボタンを押すと

- スピードメーター
- バッテリー電圧
- 水温計

へ切り替わります。タコメーター、燃費計（右上）は常時表示されています。

MENU ボタンを押すと警告音を出す各種制限値を設定することができます。通常運転ではあまり必要ありませんが、レースなどで使用する場合には特に便利です。

- バッテリー電圧低下時警告
- 水温上昇時警告
- 回転数警告
- 最高時速警告
- 警告音 ON・OFF
- 摂氏・Km/h 表示、華氏・mi/h 表示切替

通常メーター表示時 Set ボタンを押すと警告音の ON・OFF 切替ができます。ON の状態の時は左上のスピーカーマークが点灯します。

故障かなと思ったら

1. OBD コネクタが見つからない、コネクタの形状が一致しない

   A） OBDⅡに対応していない車両では当製品は接続、動作出来ません。

2. 動作はするが起動しない

   A） OBDⅡに対応した車両かどうか今一度確認してみてください。確認の後エンジンキーを回した状態から再度起動を確かめてみてください。

3. スキャンがうまくいかない場合

   A） 当製品をエンジンキーを回した状態から ON にしてみてください。また、改めて OBDⅡに対応しているかも確認してください。

4. 表示されるスピードが車両側のスピードメーター表示から比べると遅くなっている

   A） 一般的に安全性の考慮のため車のスピード表示は実際のスピード表示より数値として 2-5%高く表示されています。この為 HUD 側で表示されるスピードが必ずしも車両側のものと一致しないと言うことはご理解ください。

5. 警告音などが鳴らない場合

   A） 左上のスピーカーマークがない場合音が出ません。警告音を鳴らす場合には設定でスピーカーマークを表示させてください。